

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成23年4月14日(2011.4.14)

【公開番号】特開2009-208367(P2009-208367A)

【公開日】平成21年9月17日(2009.9.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-037

【出願番号】特願2008-54154(P2008-54154)

【国際特許分類】

B 3 2 B 7/02 (2006.01)

C 0 9 K 11/08 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 7/02 103

C 0 9 K 11/08 G

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月2日(2011.3.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

紫外線照射によって多様な蛍光発光を呈する積層体であって、
基材上に、蛍光材料を含む蛍光体層(A)を設け、
該蛍光体層(A)の上に、照射された紫外線の一部を反射及び/または吸収し、残余の紫外線を透過する被膜(B)を形成し、
該被膜(B)が該蛍光体層(A)の少なくとも一部を覆い、該蛍光体層(A)からの発光を透過することを特徴とする積層体。

【請求項2】

上記被膜(B)が紫外線反射性及び/または紫外線吸収性の異なる被膜を、少なくとも2つ以上有することを特徴とする、請求項1記載の積層体。

【請求項3】

上記被膜(B)が、紫外線反射性が低い部分(p)と、当該(p)よりも紫外線反射性が高い部分(q)が混在することを特徴とする、請求項1または請求項2に記載の積層体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

1. 紫外線照射によって多様な蛍光発光を呈する積層体であって、
基材上に、蛍光材料を含む蛍光体層(A)を設け、
該蛍光体層(A)の上に、照射された紫外線の一部を反射及び/または吸収し、残余の紫外線を透過する被膜(B)を形成し、
該被膜(B)が該蛍光体層(A)の少なくとも一部を覆い、該蛍光体層(A)からの発光

を透過することを特徴とする積層体。

2. 上記被膜(B)が紫外線反射性及び/または紫外線吸収性の異なる被膜を、少なくとも2つ以上有することを特徴とする、1.記載の積層体。

3. 上記被膜(B)が、紫外線反射性が低い部分(p)と、当該(p)よりも紫外線反射性が高い部分(q)が混在することを特徴とする、1.または2.に記載の積層体。